

芸術学部 デザイン工芸学科 視覚造形分野 受託研究

研究期間／令和2年12月22日～令和3年3月31日

広島広域都市圏28市町のロゴマークのデザイン

市花、町花をアイキャッチに28の市と町を彩る

【目的】

広島都市圏構想のPR等に活用するため、圏域の特性等を活かしたロゴマークを28市町分を制作する。

【研究・制作留意点】

28市町の特徴を一つで表すには市町が制定している「花」をあしらうことにより、全体の統一感を出した。

広島都市圏構想ロゴ基本パターン



カラーリング：暖色を主に使用しています。ゴールドには、魅力ある街に住む自信や高級感。オレンジには温かみや親しみやすさを連想させ、200万人広島都市圏構想が身近なものであることを表現しています。大きく占めているレッドは、情熱や活動的な強さを連想させます。
 デザイン：半円や直線が重なり合う箇所の色が多彩に変化し、200の文字を作り上げることで、各市町それぞれの個性が有りながらも共同している姿を表現しています。



納島 正弘(教授)/統括ディレクション

浮田 茉侑(協力研究員)/デザイン制作

芸術学部 デザイン工芸学科 視覚造形分野 受託研究

研究期間/令和6年5月~令和6年6月

広島広域都市圏 飯南町、川本町のロゴマーク

町花をアイキャッチに2町を彩る

【目的】

令和2年に広島都市圏構想のPR等に活用するため、圏域の特性等を活かしたロゴマークを28市町の花をシンボルに28種のロゴをデザインした。

今回、新たに広域都市圏に加わった飯南町・川本町のロゴマークを制作した。

【研究・制作留意点】

2町の特徴を一つで表すには市町が制定している「花」をあしらったが、他の市町と重複もあり、ディテールや色彩での明暗対比による調整を行った。

広島都市圏構想ロゴ基本パターン



令和2年に制作した広島市のロゴ



牡丹をあしらった
飯南町のロゴ



皐月をあしらった
川本町のロゴ

